

## ☆ 第3回消化管センター病診連携懇話会 ☆

平成23年4月9日（土）に、今回で3回目となる『新河端病院消化管センター病診連携懇話会』を行いました。

当日は、19名の地域開業医の先生方にお集まりいただき、症例や新装置の説明などを発表いたしました。

地域に皆様に安心して治療を受けていただくには、地域の開業医の先生方と病院との連携が大変重要となります。当院ではこのように、連携を取り合い皆様の健康をサポートしていく取り組みにも重点を置いております。



## ☆ 消化管センター外来の朝診が予約制になりました ☆

開設から一年が経ち、多くの患者様に受診していただいております消化管センター外来の朝診を予約制といたしました。予約制にすることにより、診察時刻の目安が立ち来院時間を調整できるため、待ち時間を短縮していただけます。

従来の通院中の患者様や、今後受診を希望される患者様にも予約診療をお勧めいたします。



もちろん、急な症状でお困りの患者様も、予約患者様の関係で少々待ち時間をいただく場合がございますが、これまで通り診察させていただきます。

### －消化管センターからのお知らせ－

毎週火曜日・木曜日の朝診（担当：上野）の診察開始時刻は9：30からとなります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承くださいませようお願い致します。

## 新河端病院 理念

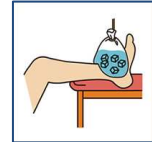
# 信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します。
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します。

## ☆ 痛いときは 冷やす or 温める？ ☆

痛いときに対処する方法として、「冷やす」と「温める」の2種類があります。

この対処を間違えると痛みが強くなり、症状が悪化してしまう原因となってしまいます。



さて、「冷やす」と「温める」どっちが良いのでしょうか。これは、病気や怪我の時期により違ってきます。

### － 急性期は冷やす －

急性期は痛みが出だした時期を言い、打撲や捻挫、ぎっくり腰などの受傷直後がこれにあたります。

このとき体は血流量が増し、腫れや痛みを伴います。この時期には炎症を抑えるのが目的となりますので、安静にして冷やすという対処になります。

### － 慢性期は温める －

急性期が過ぎると慢性期に移行するのですが、このとき炎症は起こっていません。痛めた部分が疲れてしまい十分な機能を発揮することが出来ません。筋肉は硬くなり血流が阻害されるために、疲れた部分に酸素と栄養が行き届かなくなるのです。

ですから、この時期は温めることで血流を改善し痛めた部分に十分な酸素と栄養を行き渡らせてあげる事が重要です。

### － 急性期と慢性期の判断は？ －

痛い部分を自分で触ってみて、痛くない所よりも熱く感じるようなら急性期、逆に冷たく感じるようなら慢性期と判断して良いでしょう。

## 「患者さまの権利」

- 患者さまには次のような権利があります。私たちはその権利を尊重するような医療を行います。
- ・ 医療を受ける権利
  - ・ 知る権利
  - ・ 自分で決定する権利
  - ・ プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院